

まちづくり委員長方針

村上 大知

委員会日：毎月15日前後

＝委員会メンバー＝

副委員長：伊藤 雄 堀井 竜馬

運営幹事：保母 陽伺

会計幹事：岩本 真史

委員：菱田 高志 杉本 崇 塚田 紳也 松葉 大輔

<委員長方針>

2027年リニア開業後、我がまち中津川は様々な目的で訪れる人が行き交うまちになるでしょう。そんな大きな転換期を迎えるにあたり、中津川青年会議所は「交創」という“まちづくりビジョン”を提言しました。「まちづくりは人づくり」と言われるように、我々はビジョンに基づき、今後訪れるさまざまな機会を活かし、まちの活性化に繋げるためには何が必要であるかを考え、行動していく必要があると考えます。

まちの未来を常に思い市民に運動発信する我々は、今まで培ってきたまちづくりの知識や経験を基に、市内外の人と交流を通じ得られる「新たなまちの価値」を創出し、青年会議所だからこそできる事業へ展開していく事が必要であると考えます。また、そこに参画していただく市民には、2027年に向け、自らが想像した胸がおどるような未来に「期待感」、想いを形にする「高揚感」を経験できる機会を提供いたします。そういった経験をする事で、まちづくりに対する自覚を持ち、さらには「こんなまちにしたい」という希望を持った市民が増え、中津川に活気を与え続けられると考えます。我々はそんな市民が溢れるまちこそが、「岐阜の東の玄関口」にふさわしいまちであると考え、未来へ向けて行動して参ります。

卒業生を送る会の開催では、青年会議所に在籍する最後の時間を心置きなく過ごしていただくために、卒業生の方々に今までの感謝を伝え、共に過ごした時間を分かち合う中で、思い出に残る設営を行って参ります。また、現役メンバーには、卒業生だからこそ伝えられる言葉をいただく事で、今後のJC活動に活かしていただけるよう取り組んで参ります。

最後に、委員会メンバーには未来へ向けて互いに切磋琢磨する中で、仲間との信頼関係を築いていただく事を望みます。私は委員長として率先して青年会議所活動に邁進し、委員会メンバーと心を通わせ、共に成長できる機会を提供して参ります。

<事業計画>

- ・まちづくりの推進
- ・卒業生を送る会の開催

<事業予算>

- ・400,000円
- ・150,000円